

# 消 防 費

・消防費

## 常備消防費

## 政策総務課

### (1) 乙訓消防組合

乙訓消防組合に対し、分担金を負担した。

321,928,545 円

## 非常備消防費

## 政策総務課

(1) 消防団は郷土愛護の精神に基づき、あらゆる災害に対処するため、団長以下一致団結し、防火防災活動を行った。

事業名	実施年月日	参加者数	場所
初級団員教養訓練	H27.5.17	39 人	大山崎消防署駐車場
大山崎町水防訓練	H27.6.7	46 人	桂川右岸大山崎水防倉庫前
ポンプ運用強化訓練	H27.5.17、6.7、7.5 3日間	26 人	大山崎消防署駐車場
団本部計画訓練	H27.7.5	39 人	大山崎町立中央公民館
台風11号接近に伴う警戒	H27.7.17～18 2日間	46 人	大山崎町管内
普通救命講習受講	H27. 8.2、11.8 2日間	32 人	大山崎消防署
幹部教養訓練	H27.9.20	27 人	大山崎消防署駐車場
活性化事業	H27.9.20	27 人	ホテルエミナース
一市二町林野火災消防訓練	H27.10.4	27 人	小倉神社
秋の火災予防運動に伴う広報パトロール	H27.11.9～14 6日間	延べ24人	大山崎町管内
第29回京都府消防大会	H27.11.15	24 人	国立京都国際会館
年末特別警戒	H27.12.25～31 7日間	延べ167人	大山崎町管内(各分団詰所)
大山崎町消防出初式	H28.1.10	50人	大山崎町体育館
大山崎町総合防災訓練	H28.1.17	34 人	大山崎町立大山崎小学校
春の火災予防運動に伴う広報パトロール	H28.3.1～6 6日間	延べ24人	大山崎町管内
乙訓二市一町総合消防訓練	H28.3.6	10人	パナソニックセミコンダクターソリューションズ株式会社

(2) 消防団は火災予防にも積極的に取り組むとともに、府立消防学校に団員を派遣し、各種の教育を実施した。

また、研修のため管外へも団員を派遣し、情報収集や見聞を広め、団員の資質向上に努めた。

○京都府立消防学校派遣研修

消防団専科教育警防科	1日	3人	京都府立消防学校
消防団専科教育初級幹部科	1日	2人	京都府立消防学校
消防団幹部教育指揮幹部科現場指揮課程	1日	3人	京都府立消防学校

○消防団幹部管外研修 2日 6人 東京都・静岡県

○京都府消防協会乙訓支部管外視察研修 2日 3人 高知県

(3) その他

消防団は、分団ごとに毎月自主訓練を行っているほか、消防車両を常時出動可能な状態にしておくため機関点検等を行うなど、万一の災害に備えている。

<b>消 防 施 設 費</b>	<b>政 策 総 務 課</b>
------------------	------------------

(1) 消防団詰所(第2分団)工事監理業務委託・建設費・各種検査費	32,109,760 円
(2) 第2分団山寺器具庫現状回復	54,000 円
(3) 水道事業特別会計負担金	3,420,000 円
消火栓等維持費	公設水利の維持管理費用
	消火栓 231箇所
	防火水そう 54箇所
	} 285箇所×1,000円×12ヶ月

<b>水 防 費</b>	<b>政 策 総 務 課</b>
--------------	------------------

(1) 水防出動に備え、水防活動に必要な資器材を購入した。	
水防活動用資材(単管、クランプ類、災害対応用・訓練用砂、垂木他)	170,364 円
(2) 桂川・小畑川水防事務組合	
京都市・長岡京市・大山崎町で構成する水防事務組合の負担金	280,000 円
水防事務組合水防訓練	
訓練日:H27.5.10	
場 所:淀川右岸淀大橋下流河川敷	

〈資料1〉 火災概要(過去3年間)

区分		年別	平成25年	平成26年	平成27年	昨年との比較増(減▲)
火災件数	計		5	4	6	2
	建物		2	2	3	1
	車両		1	1	1	0
	林野		0	1	0	▲1
	その他		2	0	2	2
建物焼損床面積(㎡)			6	0	0	0
建物焼損表面積(㎡)			0	1	3	2
林野焼損面積(a)			0	2	0	▲2
焼損棟数	全焼		0	0	0	0
	半焼		0	0	0	0
	部分焼		1	0	1	1
	ぼや		1	2	2	0
り災人員			2	4	4	0
り災世帯	全損		0	0	0	0
	半損		0	0	0	0
	小損		1	1	1	0

※大山崎町管内分

(乙訓消防組合統計より)

区分		年別	平成25年	平成26年	平成27年	昨年との比較増(減▲)
死傷者	死者		0	0	0	0
	負傷者		1	0	0	0
損害額(千円)			91	39	1,756	1,717
主な火災原因	たばこ		1	0	0	0
	こんろ		1	0	1	1
	火入れ		0	0	0	0
	たき火		0	1	0	▲1
	火あそび		0	1	1	0
	こたつ		0	0	0	0
	電気機器		0	0	1	1
	配線器具		0	0	0	0
	放火・放火の疑い		0	1	0	▲1
	その他		3	1	3	2
	不明		0	0	0	0
	計		5	4	6	2

※大山崎町管内分

(乙訓消防組合統計より)

〈資料2〉 救急活動概要(過去3年間)

区分		年別	平成25年	平成26年	平成27年	昨年との比較増(減▲)
出 動 件 数			988	1,044	1,096	52
取 扱 件 数			926	972	1,025	53
事 故 別	交 通 事 故		125	133	129	▲4
	急 病		579	605	657	52
	一 般		169	176	175	▲1
	そ の 他		115	130	135	5
救 護 人 員			937	984	1,039	55

事故別の出動状況を見ると急病が657件と最も多く、全体の約 60%を占めた。

(乙訓消防組合統計より)

大山崎消防署が出動した件数で、町外への出動を含む。

〈資料3〉 消防団の出動状況(平成27年度中)

区分		種別	計	災 害 出 動			演 習 ・ 訓 練	広 報 活 動	研 修 ・ 会 議	機 関 点 検	特 別 警 戒	そ の 他	
				火 災	う ち 林 野	捜 索 活 動							風 水 害 等 の 災 害
消 防 団	出 動 回 数	165	0	0	0	1	47	12	29	36	7	33	
	出 動 延 人 員	1310	0	0	0	46	432	48	127	252	233	175	

消防団員は、火災、その他の災害による被害を最小限にとどめるため、専門知識の習得、技術の練磨を重ねた。

### 1. 災害警戒本部設置状況

各種気象警報等の発表に伴い、災害警戒本部を計2回設置した。

○大雨警報発表によるもの：平成27年7月17日（金）

設置日	事象	備考
平成27年7月17日 （金）	午後02時41分 大雨警報発表 災害警戒本部設置 午後08時50分 土砂災害警戒情報発表	午後09時25分 天王山山麓の1,200世帯2,900名を対象に避難準備情報発表 ふるさとセンター、第二大山崎小学校に避難所を開設 午後10時45分 天王山山麓の1,200世帯2,900名を対象に避難勧告発令
平成27年7月18日 （土）	午前09時05分 土砂災害警戒情報解除 午前09時45分 大雨警報解除 災害警戒本部閉鎖	午前04時20分 下植野地区、円明寺松田の753世帯1,818名を対象に避難準備情報発表 大山崎中学校に避難所を開設  ふるさとセンターには、最大で14世帯22名が避難 第二大山崎小学校には、最大で7世帯20名が避難 大山崎中学校には、最大で16世帯31名が避難  午前06時45分 下植野地区、円明寺松田に発表した避難準備情報を解除 午前09時05分 天王山山麓に発令した避難勧告を解除

- ・24時間降水量278mm（長岡京）
- ・天王山ハイキングコースの一部で倒木や斜面の崩れが発生

○台風接近によるもの（警報発表無し）：平成27年9月9日（水）

### 2. 防災パトロール

大山崎町地域防災計画に基づき、梅雨期とそれに続く台風襲来期を迎えるにあたり、防災関係機関の協力を得て、災害時に危険が予想される箇所の総点検を実施し、防災上必要な対策を検討し、万全を期すことを目的に実施した。

○実施日：平成27年5月28日（木）      ○参加者数：29名

○パトロール箇所：小泉川防災ステーション、下植野排水ポンプ場

### 3. 自主防災組織の支援

- 自主防災組織の活動を支援するため、自主防災活動補助金を支出した。
  - ・ 自主防災活動補助金: 198,344円 (計8団体)
  - ・ コミュニティ助成事業補助金: 1,673,803円 (計8団体)

### 4. 防災訓練の実施

町職員の災害対応力を向上させ、関係機関との連携を強化するとともに、住民の自主防災活動を促進することにより、地域の防災力を高めることを目的として、総合防災訓練を実施した。

- 日 時 : 平成28年1月17日(日)
- 場 所 : 大山崎小学校
- 想定状況: 大規模地震及びそれに伴う火災発生
- 参加機関: 町、大山崎消防署、大山崎町消防団、対象区域自治会・町内会・自主防災組織 (住民参加500名)
- 内 容 : 災害対策本部の運営訓練、地域住民の避難行動訓練、地域住民参加型の避難所運営訓練(福祉コーナー等の設置、仮設トイレ等の設置、炊き出し)、消防署・消防団による災害救助訓練、防災展示など

### 5. 非常用電源の確保

避難所における非常用電源を確保するため、大山崎小学校及び第二大山崎小学校に太陽光パネルと蓄電池を整備した。

### 6. 防災資機材等の整備

備蓄用の飲料水、食料及び非常用毛布を調達、避難所に配備した。

### 7. 防災啓発の実施

- 出前講座: 防災に関する出前講座を計5回実施し、延べ110名の方が受講した。
- 広 報 : 4月号から12回にわたり「広報おおやまざき」に防災記事を掲載し、住民の防災意識の高揚を図った。
- 展 示 : 平成27年6月1日(月)～30日(火)、役場町民ロビーにおいて「被災地(宮城県石巻市)写真展」を実施した。